

〔駒井家文書一五ノ一二統〕

二 (町絵図)

東川
砂
草津東海道口

	四・〇	又七・〇 介	五兵衛	八・〇	作兵衛	五・〇	市郎兵衛	五・〇	長三郎	五・〇	惣四郎	五・〇
埋樋	8	瓦樋	瓦樋	新 横 町								
	8	瓦	5	5	6	4.7	5	5	5	5		
	8	數	又介小屋	五兵衛	作兵衛	二・〇 一郎兵衛借屋	長三郎借屋	二・〇			數	

東海道草津宿關係史料 (庄屋駒井与左衛門家文書)

(續)

小林 博

借庄
三郎

借吉
兵衛

庄三郎	八兵衛	八兵衛	喜八助	八吉兵衛	八吉兵衛	長右衛門	庄助	八彌兵衛	治良兵衛	權三郎	彦右衛門	六左衛門	八左衛門
	4.2	4.1	4.2	5.0	5.1	5.1	6.4	4.1	4.1	5.0	2.0	5.5	5.5
埋樋	新 横 町					埋樋	瓦樋	瓦樋				竹埋樋	
	6.4	5.0	5.0	5.3	6.4	4.3	4.1	5.0	2.0	6.0	一・五	茂助	
	一六・〇	清三郎	權九郎・六兵衛	六兵衛借屋	數	數	數	數	數	數	數	茂助	

]

東海道草津宿関係史料 (四) (小林)

源六島	久兵衛借屋	三・〇	九兵衛昌	半左工門畠	治良八小屋	三・〇	火合	長兵衛	七右工門借屋	四・〇	權兵衛	六・〇	加兵衛	六・〇	源六	八・〇	弥市	八・〇	宇兵衛	八・〇
4.1	5.1		4.1	4.1	4.1	3.0	6.0	6.0	6.2	5.3	5.0	6.5								

瓦
樋

新 横 町

源六後家	久兵衛	五・二	九兵衛	半右衛門	六・〇	治郎八	一六・〇	火合	三・〇	長兵衛	一六・〇	七右衛門	一六・〇	仁介	一六・〇	長二郎	一六・〇	善五郎	一六・〇	仁兵衛	一六・〇	甚右衛門	九・〇
4.1	5.1		4.1	4.1	4.1	4.1	3.0	6.0	6.2	6.3	6.3	6.4	4.4	9.0									

久兵衛かしや
源六かしや
忠七かしや
弥兵へかしや
理右工門かしや

借仁屋介

借長三屋郎

借仁兵へ屋

甚右工門かしや

火合	新右工門借屋	四・〇	利右工門借屋	四・〇	明キ屋敷	四・〇	利右衛門	四・〇	清介小屋	四・〇	久兵衛借屋	四・〇	八兵衛	四・〇	助之丞小屋	四・〇	忠五郎借屋	四・〇	又三郎借屋	三・〇	長五郎畑	三・〇	甚左衛門畠	三・〇
3.0	4.4	6.2	6.4	5.3	4.2	4.4	7.0	5.3	6.3	6.0	4.3													

本 横 町

瓦
樋

火合	新左工門	一八・三	利右工門借屋	一八・三	庄次郎	一八・三	利右工門借屋	一八・三	清介	一九・五	久兵衛	一九・五	彦十郎	一六・〇	助之丞	一六・〇	忠五郎	一一・三	又三郎	一一・三	長五郎	一〇・〇	甚左衛門	一一・三
3.0	5.0	6.2	6.4	5.3	4.2	4.4	7.0	5.3	6.3	6.0	4.3													

東本願寺
伝久寺

借右工門屋

借久兵衛屋

借彦十郎屋

とらや庄兵衛
清介かしや
うじや久右工門
久右工門かしや
うじや久三郎
久三郎かしや
久右工門かしや
又三郎かしや
うじや半左工門
甚左工門かしや
田地道
借屋
門融寺

東海道草津宿関係史料 (編) (小林)

大木之節防 道具入壱町目 持之小屋 文政度 相願濟 橋懸場 間西	籓	御高札場	利右衛門 借屋 11.0	六兵衛借屋 三三・二 三三・二 3.2	五良兵衛 借屋 7.1	四・〇 儀兵衛 7.1
--	---	------	--------------------	------------------------------	-------------------	-------------------

西 山田道

	32.0	5・0
	弥三郎	4・0
	14.3	4・0
	新助	4・1
九郎兵衛	44.3	3・4
	九郎兵衛	5・3
	16.4	5・2
半兵衛借	半兵衛	5・3
	24.3	5・2
	八右衛門	5・2
	伝次ヘツツキ	5・2

東横町

6・3	11.0	3.2	7.1	7.1
	利右衛門	六兵衛	一四・〇	清兵衛
4・0	14.0		五郎兵衛	二〇・二
	治介		一四・〇	
5・0	24.5			
	四郎左衛門			
4・4	26.2			
	権介			
4・5	27.5			
	吉兵衛ツツキ			

九郎兵衛

半兵衛借

清兵衛

借十兵衛	十二〇・兵衛四	善五郎	二五〇	三郎右衛門	二四〇	ふち原	二五〇	忠右衛門	二六〇	庄五郎	廿七・四	四一〇	一六〇	治兵衛	一六・四	茂左衛門	五五〇	小川筋	二五〇	伝治	八右衛門ツツキ
	6.5	4.3	5.5	5.1	4.5	5.3	4.2	4.2	6.0	12.0	5.2										

二町目

17.九藏	火合	6.2	4.1	6.0	5.0	4.0	7.0	4.2	4.5
(注、本陣)	五九〇	治左衛門	四郎兵衛	伊左衛門	与兵衛	長兵衛	治左衛門	覚兵衛	権介ヘツツキ
	〇	二四〇	二五〇	二四〇	一四・三	一五・〇	二七・五	二七・五	吉兵衛

九藏かしや

四郎兵衛

浄教寺

惣三郎

惣三郎

真浄土寺宗

日蓮寺宗

孫十郎	寄九・三 會所	廿六・〇 三左衛門	庄五郎	廿六・〇 十左衛門	廿六・〇	十一・二・〇 十左衛門 借屋	廿一・四 平三郎	喜右衛門 三二・四	善三郎 二〇・三	太右衛門 廿八・〇	作兵衛家 廿八・四	四三・〇 半左衛門
5.1	2.4	3.1	5.1	8.5	6.4	5.3	6.0	5.1	4.0	6.4	8.3	

往還筋

三町目

喜兵衛	忠兵衛	長五郎	權左衛門	勘三郎	清右衛門	六左衛門	長兵衛	長兵衛	九右衛門	七兵衛
一六・四	一一・〇	二三・五	二三・五	三四・〇	二九・〇	一六・〇	二七・〇	二七・〇	二七・〇	七一・〇
借屋 借屋	借屋 借屋	借屋 借屋	借屋 借屋	借屋 借屋	借屋 借屋	借屋 借屋	借屋 借屋	借屋 借屋	借屋 借屋	借屋 借屋
松左衛門 借屋	とらや 七郎	上右衛門 借屋	上左衛門 借屋	溜藏	清右衛門 借屋	西本願寺 淨教寺	庄三郎 借屋	庄三郎 借屋	長左衛門 借屋	清五郎 借屋
5.1	6.5	5.5	6.2	8.0	6.3	5.3	5.0	5.0	3.2	



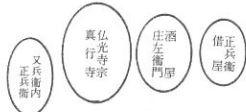
六兵衛	源左衛門	五郎右衛門	權右衛門	勘十郎	久左衛門	八左衛門	常善寺	門口	作兵衛	六・〇
2・6	6.0	6.5	8.1	4.3	6.0	5.2	5.3	13.0		

石橋

四町目

田道	又四郎	平左衛門	廿四・〇	廿四・四	廿四・四	廿四・四	治郎兵衛	伝左衛門	庄兵衛	又兵衛	三四・〇
二・四	11.4	6.1	4.2	3.1	4.1	4.3	6.1	6.6	5.0	7.1	

又四郎借屋



東海道草津宿関係史料 (函) (小林)

										又十郎かしや		常善寺屋敷													
										か権兵やへ		か仁兵やへ		勘四郎											
忠三郎	伊兵衛	三四・〇	勘左衛門	一六・〇	小左衛門	一一・〇	勤兵衛	一〇・〇	仁兵衛	一七・〇	権兵衛	一七・〇	長作郎	一七・〇	文左衛門	一五・〇	清作	一五・〇	九兵衛	一五・〇	文左衛門	一五・〇	権兵衛	一五・〇	
		3.4		4.2		5.0		3.2		4.4		5.0		5.3		5.1		4.5		4.3		3.4		5.1	

六 町 目

五 町 目

4.1	4.1	6.0	8.1	3.1	3.4	4.2	5.2	4.0	4.0	3.4	5.4	6.3		
一六・〇	吉兵衛	五郎介	庄右衛門	喜平治	二九・〇	与十郎	作二・〇	善兵衛	弥兵衛	久左衛門	市助	廿一・〇	廿一・四	長左衛門

田道



小左衛門かしや

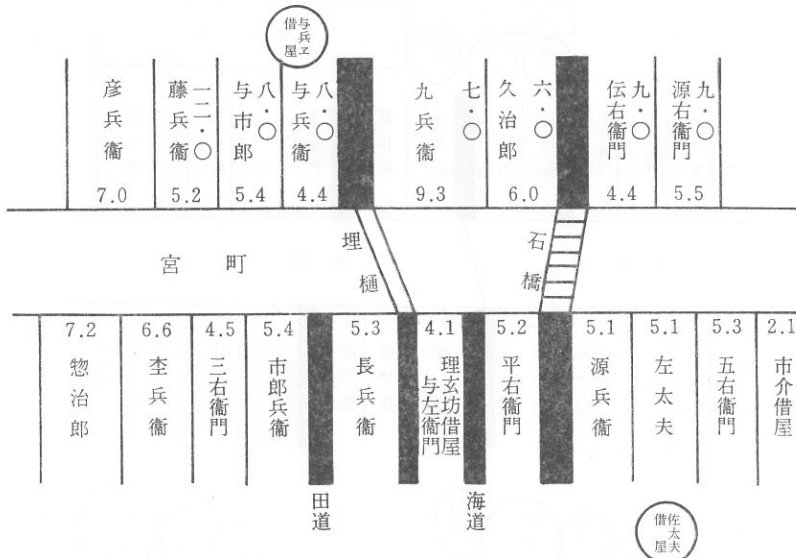
										立木明神									
										33.4									
										小八・〇									
										茂八・〇									
										与治兵衛									
										廿二・〇									
										廿一・〇									
										源一四・〇									
										長一三・〇									
										3.1 3.1									

宮 町

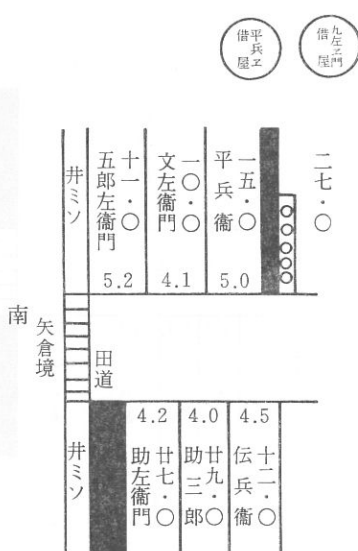
5.0	4.0	3.5	7.0	7.2										
八一四・〇	吉左衛門	中兵衛	六兵衛	孫兵衛										
					11.0	5.0	5.0	3.1	4.4	4.1				
					半介	源左衛門	治左衛門	仁左衛門	長三郎	惣兵衛				

田道





- 三 往還伏穢樋之覚 享保十亥年書上之表趣願共
- 一 北側 權三 間 南側 忠右三門 間
 - 一 瓦樋 式間五尺 内法五寸
 - 一 北側 嘉三郎 間 南側 忠右三門 間
 - 一 同 式間五尺 内法五寸
 - 一 北側 庄兵衛 間 南側 庄兵衛 間
 - 一 同 三間尺 内法七寸
 - 一 北側 覚右三門 間 南側 長兵衛 間
 - 一 同 三間半 内法六寸
 - 一 北側 清兵衛 間 南側 茂助 間
 - 一 同 三間尺 内法七寸
- 享保十年書上長四間五尺之処
享保十七年ハ此ニ相成



- 一 北側 弥兵衛間 南側 儀助間
市兵衛間 三間尺 内法七寸
 - 一 同 三間尺 内法七寸
 - 一 北側 清助間 南側 十兵衛間
清兵衛間 三間尺 權兵衛間
 - 一 石樋 三間尺
 - 一 兩横町境 南側 勘七間
二間八寸
 - 一 瓦樋 三間 内法四寸
 - 一 次郎八間
 - 一 同 式間四尺 内法四寸
 - 一 勘四郎
 - 一 甚左工門間
 - 一 石樋 三間二尺
 - 一 助之丞 間
 - 一 久右工門 間
 - 一 瓦樋 老間 内法四寸
 - 一 平兵衛 間
 - 一 瓦樋 式間式尺 内法四寸
 - 一 北側 三郎右工門 南側 源兵衛間
五郎右工門 式間三尺 内法四寸
 - 一 同 式間三尺 内法四寸
 - 一 甚兵衛 間
 - 一 利右工門 間
 - 一 埋樋 三間 内法四寸
 - 一 宮町 老助 間
 - 一 同 六間式尺 内法五寸
 - 一 東横丁北側 二間持間 南側 与左工門持間
介持間
- 享保廿卯年□□□□ニ成
- 寛政七卯才新規ノ免

四

- 一 瓦樋 三間三尺 内法五寸
 - 一 同 北側 助四郎間 南側 与左工門間
介間 三間四尺 權三郎
 - 一 同 北側 卯兵衛間 南側 四郎兵衛間
卯兵衛間 三間四尺 儀助持
 - 一 三町目 藤与門間
 - 一 市兵衛間
 - 一 石樋 四間
 - 一 西横丁 五郎兵衛間
甚兵衛間
 - 一 埋樋 式間三尺 内法四寸
- 文化十三年丙子三月於草津駅
- 左 東海道 西ノ方 左東海道いせ道
いせみち
- 奉天照皇太神宮豊受大神宮
- 右 金勝寺 南ノ方 右金勝寺志からき道
志からき
- 奉兩宮 東ノ方
- 永世常夜燈并旅人夜中 東ノ方 京都 中井正治右衛門橋武成
知道ノ爲也 奉
- 京都市中井正治右衛門橋武成
- 文化十三年丙子三月 日 江州草津駅
- 永世常夜燈 京中井正治右衛門武成
- (横書キ)

五 堅ノ足輕之覺

金勝道耆人 木挽長兵衛辻耆人 本願寺辻耆人
 □□之辻耆人 札ノ辻 耆人 小川兩方式人
 本陣辻兩方式人 会所前耆人 山王辻式人
 養專寺辻耆人 宮橋辻式人 黒門耆人
 箱番式人

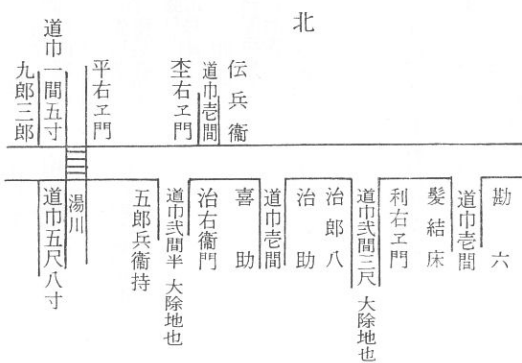
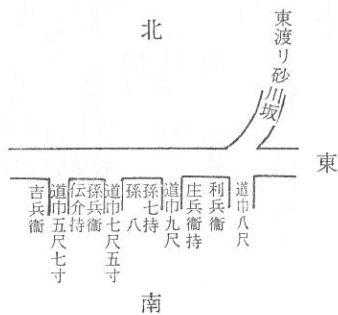
右以上十八人

右寛延之頃手控ニ有之写し

六 文政二巳卯九月大御通り之節被仰付同年十一月廿

八日大 神谷長左衛門様江差上候

式拾四小路之訳



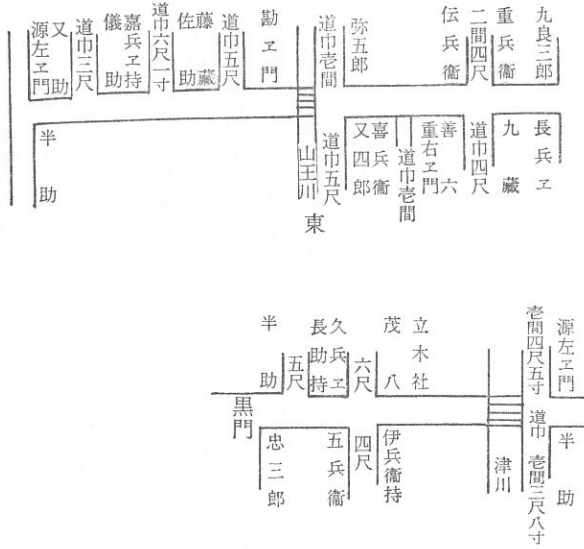
七

延享五辰午朝鮮人來朝ニ付前卯年道法御尋之時書上

矢倉境方草津堤迄四百四拾三間半

砂川間 拾三間半

右大津御代官石原清左衛門様へ



八

町間敷之事

矢倉村境方 但し石橋巾五尺長三間式尺

百拾七間三尺 宮町

四間半 幅二間 宮川土橋

六拾老間五尺 六町目

三拾八間半 五町目

老間 川巾定杭 石橋 六尺五寸竿

長三間三尺 巾六尺 百五間町幅 西横町

六拾四間 東小路道中定杭 堀中定杭 四町目 百六拾五間同東横町

右之書上之外調置之

六拾貳間 三町目

四拾七間半 貳町目

七尺五寸長三間半 石はし

四拾間半 壹町目

五間 坂ノ下

四百四拾三間半 但し六尺五寸竿

右延享四卯五月生嶋長右衛門様へ書上候

九

宝曆十一辛巳年暮之頃東横町種子池側川岸水替場
右兵衛る普請いたし岸高ク相成候ニ付近所迷惑之

趣同年八月十八日町中打寄太郎兵衛右兵衛方江応
 対ニ相成埒明不申ニ付町内并太郎兵衛裏之雪隠取
 除ケ水替場拵可申由ニ而墮取之趣町内并太郎兵衛
 右兵衛ノ届出候ニ付翌十九日朝名主両人見分いた
 し双方無証掘ニ而可取上様無之依而役所表江伺之
 上左之通申付候

一 雪隠落し場所種池除池之義則地下地面ニ付地下方
 入用ニ有之迄者是迄数年支配いたし来候故太郎兵
 衛十兵衛方江支配申付候間以來町内ノ差構申間敷
 事

一 種池より太郎兵衛右兵衛裏借屋へ通有比度五尺ニ
 相極定杭申付候間右兵衛ノ建塞之義不相成事

一 水替場是迄之通ニ可致候尤道筋堀損之雪隠取除候
 義町内□□ニ付今度者町内より元之ごとく仕直し
 可申水替場共右之堀ノ元之ごとく仕直し可申事
 右九月二日定杭式本打之双方江申達



一〇 宝曆十一巳年八月三町目北之はし地ニ建物 此
 度町之番所打建申度之段組頭ノ申出候ニ付奥印
 いたし願書取次候事

名主 勘兵衛
 次郎八

一一 一札之事

一 此度私北之方在之候池御溜ニ成候ニ付先規之通ニ

相成而ハ差当り至て難波仕候間何卒此義ハ先中お
んさらえニ被成下候様御願申上候已後先規之通ニ
被成候節毛頭違背申間敷ク爲後ニ依而如件

天明四年

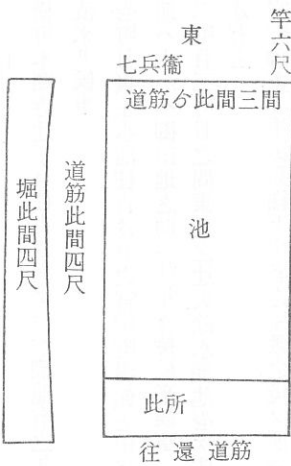
甲辰十二月

願主 組頭

七兵衛 印

孫十郎 印
太左衛門 印

御庄屋中様



九藏 石垣

天明四年

辰十二月 日

三町目

七兵衛

三町目組頭

孫十郎

太左衛門

四町目組頭
重兵衛
次郎三郎

右之通ニ御座候

一一

明和元甲申年宮町東裏種子池往古より神主志摩屋敷有
之処右種子池際志摩屋敷之内東西八間半南北七間五尺
縞屋善兵衛取持田地畑共之内東西八間半南北七間五尺
御年貢之義ハ是迄通持之ニ而宝曆六子三月双方相對之
上替地いたし尤善兵衛志摩江銀百四拾七匁分上打
とし而取之候然ル処其後善三郎義右池を潰し外ニ替り
池拵申度望有之宝曆四戌年五月五日忠助より

門田六队拾歩 高九斗七升六合

荒畑屯队廿歩 拾九升六合

右之田地譲り受此田北之側ニ替り池拵置候所善兵衛死
後倅新左衛門ニ至り右池者普請之節土取場ニ付種漬池
ニ而者無之旨申立蓮田そう田 共に往古の蓮田湯頭ニ
有之池善兵衛頼ニ付替り池出来有之候間則種漬候様申
立依之明和元申年六月新左衛門御郡代江御訴訟申上

候ニ付懸り合 以上写差出様被仰付横町ニ往古より
種潰池之有無書替之儀是又被仰付則左ニ

口上

一 横町本願寺辻子ニ往古る火よけ水溜池有之年々種潰来り候事

一 壹町目裏生水池往古る有之宮中町湯頭と申旱水之節ハ水かへ御田地之助ニ仕年々持續来候事

一 二町目三町目之間東側之辻火除水溜池壹ヶ所往古る有之

一 宮町神主并生源兵衛と申者之屋敷之境ノ所ニ字名蓮田と申御田地之湯頭有之往古る旱水之節ハ水かへ御田地之助ニ仕年々持續来り候事

右四ヶ所書之候通相違無御座候比度明細帳ニ御書上ニ付書付差出申候右之通御書付御差上可被下候以上

東横町る六町目迄四ヶ町組頭兩人宛連印

明和三年

申六月

御庄屋中

御役人中

右取扱人被仰付八月四日事済

庄屋半助
八左エ門

神主志摩

蓮田持主

取扱人七左エ門
次郎八

善兵衛悻

孫十郎

矢倉村
当十郎

宮町
新左エ門

久兵衛
勘右エ門
吉兵衛
甚左衛門
助

町惣代

久次郎

正定寺代

源太郎

円融寺代

久兵衛

組頭

久右エ門
甚三郎

宗澄

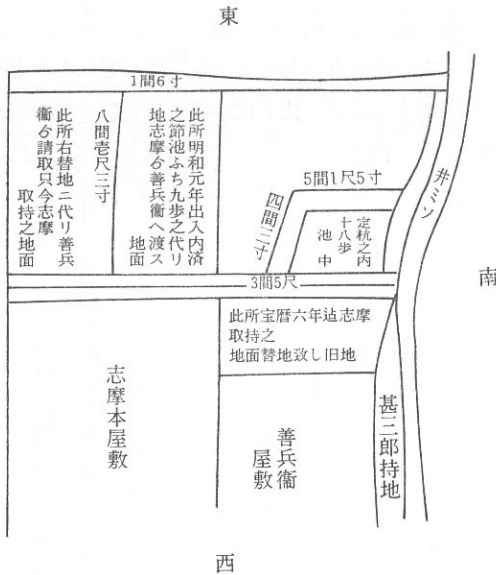
池地十八歩ニ相極メ

門池中九兵衛分

今之地有所善兵衛地面
其處ニ有之

池ふち 九兵衛分

志摩る可出分
此代り地面志摩屋敷之
田地善兵衛との境ニ而渡



明和元年八月四日
定杭打之

〔駒井家文書一五ノ一二〕

田地附屋敷
溜池附水濺
井関附樋

一
天正十九年卯月十二日

長東大藏太輔正家判

- 上田四拾六町四反廿五歩 壹石八斗代
 - 中田貳拾町廿分 分米八百三拾五石三斗五升
 - 下田拾貳町 壹石六斗代
 - 屋敷三町三反 分米三百貳拾石壹斗
 - 上畠四町六反貳畝廿歩 壹石三斗代
 - 中畑貳町壹反九畝廿四歩 分米百五拾壹石
 - 下畑壹町四反六歩 分米四拾貳石九斗
 - 永荒田五町五反拾三歩 壹石三斗代
 - 田畑合九拾五町四反四畝十八歩 分米六拾石壹斗四升
 - 分米貳拾四石壹斗六升
 - 分米貳拾石六斗四升
 - 分米九拾石五斗七升
 - 分米合千四百四拾壹石八斗
- 帳内畝違斗代違重而なおし遣也

二

慶長七年十月日

小堀新助判

長井近左衛門
杉村作次 帳面裏書也

上田 壹石五斗四升代
四拾四町五反貳畝十八步 六百八拾五石七斗貳合

中田 壹石四斗代
拾七町三畝廿七步 貳百三拾八石四斗六合

下田 壹石三斗代
九町三反六畝廿三步 百貳拾壹石七斗壹升五合

荒田 壹石四斗五升代
壹拾五町壹畝 三百六拾貳石六升四升五合

上々畑 壹石三斗代
四町六反五畝十五步 六拾石五斗壹升五合

上畑 壹石壹斗代
貳町壹反八畝 貳拾三石九斗八升

中畑 九斗代
九反六畝五步 八石六斗五升五合

下畑 七斗代
貳反 壹石四斗

荒畑 九斗代
壹町四反五畝 拾三石五升

屋敷 壹石三斗代
三町十步 三拾九石四升三合

屋敷 壹石壹斗代
三反七畝 四石七升

田畠 壹石壹斗代
合百八町七反六畝八步 分米合千五百五拾七石貳斗貳升

分米 壹石壹斗代
合千五百五拾七石貳斗貳升

分米 壹石壹斗代
合千五百五拾七石貳斗貳升

五拾石 常善寺

千五百七石貳斗貳升 草津村

内 三拾八石六斗五升三合 御伝馬地子免許

殘高千四百六拾八石五斗六升七合

内

壹斗貳升六合 又四郎裏濟替元禄七甲戌年々永引

五斗貳升升合 裏道敷地元禄十五壬午年々永引

六斗四升八合 年々萬永引

拾九石壹斗六升七合 御社領被下高貳十三石

尚殘高千四百四拾八石七斗五升貳合上納高也

右者初代儀助名茂春宝曆四年之頃庄屋在役中記錄

二有之御社領拾九石壹斗六升七合者其頃御高引被

下置候処其後御主法ニ相成候節より現米貳石八斗

六升六夕御勘定目錄ニ而御引被下候事

三 常善寺御朱印五拾石之事

字上中之町壹石五斗四升代

上田 貳反四畝步 高三石六斗九升六合

中田 壹石四斗代 高老石四斗

糠田 壹石三斗代 高六石八斗六升四合

筋違 壹石三斗代 高四石四升七合貳斗

下田 五反貳畝廿四步 高四石六斗貳升

下田 壹石三斗代 高四石四升七合貳斗

八町繩手 壹石五斗四升代

上田 三反步

三反步

キロメキ 同斗代

猪子辻 同斗代

ダグ田 同斗代

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

同 五畝拾歩

高老石四斗三升七合三夕

高老石老斗七升四夕

高八斗式升老合三夕

高八石七斗七升八合

高老石四斗三升式合

高式石三斗老升

高式石八斗八升四合

高三石八升

高老石老斗式升九合三夕

高老石式斗老合式夕

高五石三斗式升九合三夕

近江国栗太郡

草津村之内

皇都知恩院末

本多隠岐守殿領分

近江国栗太郡草津村

常善寺

常善寺

右者慶長五年九月

東照宮様関ヶ原 御凱陣之砌

御滞在被為 遊候相繼

台徳院様 御上落之砌

為遊候

依御吉例

大猷院様 御上落之砌

右御由緒柄を以御朱印頂戴仕罷在候

依之前々諸役 御免除被成下置候此段

奉申上候以上

嘉永四亥年七月

近江国栗太郡草津村

淨土宗

常善寺

大猷院様御朱印写

当寺領近江国栗太郡

草津之内五拾石慶長

六年寄附之所弥寺納

不可有相違者也仍如件

常善寺

常善寺

上 老町九反老畝拾式歩

此分米廿九石四斗七升五合五夕

中 六反八畝廿歩

此分米 九石六斗老升三合三夕

下 八反三畝廿八歩

此分米 拾石九斗老升老合式夕

寛永十三年十一月九日

常善寺

四 地子御免許之事

高三拾八石六斗五升三合 地子老万坪馬役百軒江

高三斗八升六合五夕宛

内拾三石九斗老升五合 三千六百坪 馬役三十

六人江右慶長七寅年被下置候 御証文之義者寛

文八申年宿方出火之節焼失

貳拾四石七斗三升八合 六千四百坪 馬役六十

四人江

右寛永十二亥年被下置候 御証文者御領主石川

主殿頭様江御渡ニ相成有之由之処其後石川様御

所替之節御下ケ相願候得共御見当リ無之趣ニ而

御下ケ不被下候

天保十三丑年六月御上役 向島真兵衛 江宿高家

町田庄三郎様

数人別家仕訳書上之内ニ

一 高千五百七石貳斗貳升

内御免許地子老万步

此訳

上ノ畑 九反九畝拾步

此高拾貳石九斗老升三合

老反ニ付 老石三斗

上畑 貳町三反四畝步

此高貳拾五石七斗四升

老反ニ付 老石老斗

合高三拾八石六斗五升三合

残而千四百六拾八石五斗六升七合

内五百六石貳斗七升五合五夕

荒高

差引

九百六拾貳石九升老合五夕

五

元禄年中永引高之事

寛延元年

永引高御改書被帳

栗太郡

辰十月

草津宿

覚

高千四百六拾八石五斗六升七合之内

一 高六斗四升八合

御免定御引高

栗太郡 草津宿

此畝四畝拾老步九分

此訳

元禄七 戊年 〆

高老斗貳升六合

溝替 年々万永引

此畝廿九步

元禄十五壬午年々

高五斗式升式合

裏通敷地 年々万永引

此畝三畝拾式步九分

六斗四升五合

此畝四畝十一步九分

右小前

字的場	又四郎
上田 廿九步	分米壹斗式升六合
字たうかいと	
上田 拾壹步九分	分米六升壹合
字つかさ	
中田 貳步四分	分米壹升壹合
字壹町目	
上田 拾七步五分	分米壹升七合
字さかりは	
上田 拾七步五分	分米九升壹合
字堂ノ後	
上田 十八步六分	分米九升六合
字同断	
上田 七步	分米三升六合
字同断	
上田 四步	分米貳升五合
字三反□	
上田 五步	分米貳升五合
字中ノ町	
中田 壹步六分	分米 八合
字同断	
上田 四步三分	分米貳升貳合
字北ノはし	
上田 五步	分米貳升六合
字心かへ	
上田 貳步	分米壹升

左右衛門

勘兵衛

十兵衛

半左衛門

平三郎

平三郎

文左衛門

常善寺

与左衛門

又左衛門

小左衛門

源左衛門

字中ノ町	分米 八合	文左衛門
上田 壹步六分		
字三反ノ長		
上田 三歩四分	分米壹升八合	平三郎
字北ノはし		
上田 貳步一分	分米壹升壹合	増兵衛
字同所		
上田 壹步七分	分米六合	茂右衛門
字中ノ町		
上田 貳貳式分	分米壹升壹合	茂右衛門
字いはのまへ		
上田 四分	分米貳升	清兵衛
字中ノ町		
中田 五分	分米貳合	清兵衛
字射場前		
上田 壹步四分	分米六合	吉兵衛
字北ノはし		
上田 貳步貳分	分米壹升壹合	伝久寺
字北ノはし		
上田 壹步三分	分米五合	又右衛門

右之通相違無御座候分米御檢地帳面之通相違御座候ハ、如何様共可被仰付候其節一言之御訴訟申上間敷候以上

寛政二己五月

栗太郡草津宿

庄屋

たれ

又兵衛

肝煎

与左衛門

安兵衛

十右衛門

長百姓 伝五郎
半助

七左衛門

治助

次郎八

善五郎

御奉行様

延享五辰年改

西裏道敷地幅六尺
延享三寅年改

森部大廻り道

巾三尺
深式尺六寸

六 新田高之事

一 高四石三斗八升壹合

延享二乙丑年

此队三反三队廿一步

管井條右衛門様御竿入
生嶋又右衛門様

請米之覚

延享二丑才見立

内

六队九分大丸池跡

三队拾歩 德式斗三升四合 源兵衛

三队廿四歩 德式斗六升六合 権次郎

式队十五歩 德式斗七升五合 八郎兵衛

式队廿四歩 德式斗九升六合 作兵衛

式队廿五歩 德式斗式升九合 かる

〃 〃 〃 〃
老队廿一步 德式斗一升九合 ゆり

〃 〃 〃 〃
老队十九歩 德式斗一升四合 庄兵衛

〃 〃 〃 〃
老反七队十八歩

德式老石式斗三升三合

蓮田上池

延享二丑才見立

六队廿二歩

四斗七升壹合 厨田

六队廿歩

四斗六升六合 高野 中

老反六队歩
蓮田池趾

六队廿一步

四斗六升九合 廿五日講中 伝久寺

六队廿一步

四斗六升九合 仁兵衛 六丁目

四队廿四歩

三斗三升六合 小右門 六丁目

〃 〃 〃 〃
三反老队十八歩

式石式斗老升壹合

老反老队十式歩

大門下池

延享二丑年見立 宮之 田

大門池跡

三廉徳合四石九斗八升四合

〃 〃 〃 〃
三反三队廿一步 老石三斗代

分米四石三斗八升壹合

此取米老石六斗式升三合 免三ツ七分

古川堤筋畑

一 高五石四合

文化三丙寅年請所年貢米老石六斗宛
天保八丁酉年畑成改直御高入

此畑中畑五反五畝十八步九斗代

分米五石四合

此取米老石六斗老合三夕 免三ツ式分

老反式畝十七步
大門池跡

大門池跡 寛政四子才見立
荒五畝十七步 三斗七升 平右衛門

同 五畝廿三步 三斗八升

同 五畝廿步 三斗八升

同 六畝五步 四斗老升

同 四畝十五步 三斗

同 式反七畝廿步

老石八斗四升

尾丸池跡 寛政四子才見立

荒五畝三步 三斗四升 儀 助

同 七畝廿步 五年 同 人

同 七畝廿步 五斗 同 人

同 老畝十一步 老斗式升 清右衛門

同 式反老畝廿九步

老石四斗六升

五反九畝十式步

分米四石七斗五升三合 三廉徳合七石六斗式升

此取米 老石二斗三升五合五夕 免二ツ五分

八斗代 但し近来免三ツ取成

七 池跡田

一 高四石七斗五升式合

寛政四壬子年米老石式斗
宛上納之処天保三壬辰年改
直御高入

此畝五反九畝十式步

内 蓮田池

宮治弥兵衛様
榊原帶藏様
寛政四子才見立

三反七畝廿八步 荒老反四畝二步 九斗三升 孫右衛門

蓮田池 同 九畝步 五斗九升 同 人

詠老反式畝十一歩 同 老反六歩 七斗五升 同 人

老反二畝四歩 同 老反一畝十一歩 七斗五升 同 人

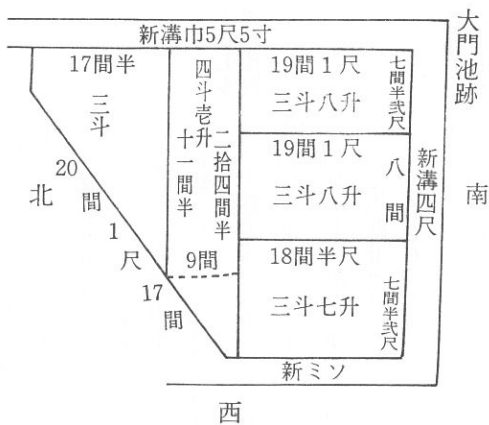
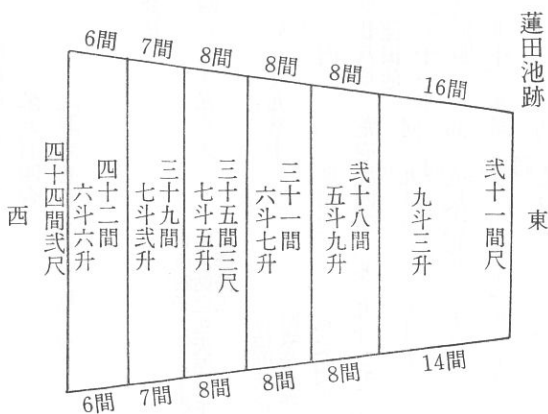
同 老反三畝十三歩 同 老反廿六歩 七斗式升 同 人

同 九畝廿八歩 六斗六升 同 人

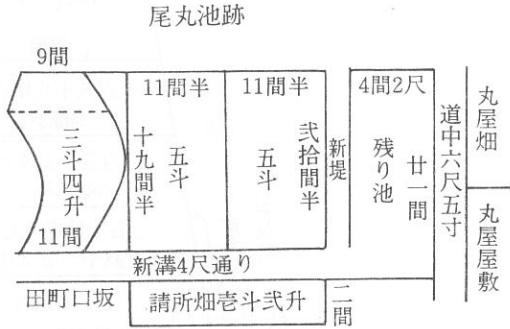
六反五畝十三石

四石三斗式升

八 寛政四壬子年池跡田見立之覚



右蓮田大門両池往古より有候処水持あしく田地養ニ不相成候ニ付一同申談之上御地頭様江御届濟御見分之上二池を潰し上鐘突ニ而田地買上新池を拵右大門蓮池跡田出来
 右尾丸池前同断ニ付西方ニ而東西四間式尺南北式拾壹間の上池を残し残り池并山神を社地江移し山跡池跡図ごとく出来



一九

其時寛政四壬子年

庄屋

高田儀助
山田孫右衛門

乍恐御願奉申上候口上書

昨年御免被成下候池跡田起替御年貢之儀先達而も御願奉申上候通り御地面も甚あしく行々ハ御本田ニ茂難相成奉存候新池御引ケ高其低ニ被成下其余現米壹石式斗宛年々御上納仕度奉存候
 御慈悲之上右願之通被仰付被下候ハ、難有奉存候以上

丑十月

草津宿庄屋

山内孫右衛門

御奉行様

一〇 天保三壬辰年米極田堤請所御調ニ相成同年右三
 ヶ所池跡御高入ニ相成其節書上候反臥見積左之
 通



古川筋東ヨリ

一	七間四尺九寸	忠兵衛 <small>古ミヤ</small>	一	拾四間八寸	長三郎	一	六間三尺二寸	常善寺	一	六間四尺貳寸	忠兵衛 <small>茶也</small>
一	九間貳尺三寸	右兵衛	一	四間老尺八寸	長三郎	一	拾間貳尺	正定寺	一	十四間八寸	孫右衛門
一	拾間三尺	喜兵衛	一	拾老間	小右衛門	一	三間四尺老寸	常善寺	一	九間	忠兵衛
一	九間半	南若厨	一	十間	世話厨田	一	十七間五尺九寸	孫右衛門	一	五拾貳間四尺六寸	文左衛門
一	八間五尺	長次郎	一	九間五尺三寸	長次郎	一	四百三拾四間五尺九寸六但し尺三寸半				
一	八間五尺六寸	長次郎	一	貳十八間三尺六寸	孫右衛門	一	天保三壬辰年				
一	三拾間貳尺	孫右衛門	一	五間貳尺六寸	半助	一	米極田	請所堤間數書上			
一	四間五尺八寸	源左衛門	一	十一間老尺七寸	勘右衛門	一	七月	草津宿			
一	十一間貳尺七寸	伝兵衛	一	十七間五尺四寸	又助	一	老反貳呎十一歩	孫右衛門			
一	十四間八寸	長次郎	一	六間貳尺貳寸	池田也	一	老反貳呎四歩	同人			
一	十一間三尺七寸	文六	一	五間	忠兵衛	一	老反三呎十三歩	同人			
一	九間半	孫右衛門	一	六間老尺二寸	半助	一	老反貳呎十七歩	持主			
一	五間五寸	小右衛門	一	六間老尺貳寸	孫右衛門	一	八呎廿七歩	持主			
一	十一間五尺貳寸	忠兵衛	一	六間四尺七寸	長三郎	一	合五反九呎十貳分	此納米老石貳斗			
						一	砂川堤追分村堺	木川村境迄			
						一	長六百四拾貳間八寸				

古川堤筋 此納米 貳石
長四百三拾四間五尺九寸

此納米 壹石六斗

百姓惣代

忠右衛門
利右衛門

右之通御座候以上

年寄 常藏

七月

竹村甚七

問屋 辻重兵衛

高田儀助

深尾又五郎

御奉行様

右米極田持 御見分
御地方 字治弥之助様
柳原○○様 七月十九日

此時田地之分高入ニ相成

一米壹石貳斗 八斗代

此隊五反九畝十貳步 免貳ツ六分

分米四石七斗四升貳合

差引

三升五合五夕 増米
右尔紙書付御渡し被成候

一二 小物成之事

一 一米貳石 砂川堤 七拾五間

五百九十三間

但し追分境ノ石部口迄之間
但し石部口より木川境迄之間

赤根川堤

四百六拾三間

但し追分ノ切戸迄
兩堤

九十六間

但し込田西堤

三百六十九間

但し宮川堤宮後ノ矢倉境迄之間

砂川堤 追分境ノ七拾五間

砂川堤 石部口ノ五百九十三間

大丸境追分境

一 貳升壹合 吉兵衛 一 五合 義助

一 貳升壹合 庄兵衛 一 六合 作兵衛

一同 貳升壹合 治郎八 一 七合 八郎兵衛

一 貳升壹合 文左衛門 一 六合 権兵衛

一 貳升六合 義助 一 六合 かる

メ壹步四夕ノ積リ 一 壹升 清四郎

一 壹升五合 庄兵衛

今是ノ中組 今孫七ノ表

赤根川堤 追分境ノ切戸迄 兩堤 一 壹斗壹升 覚右衛門

一 四合 清兵衛 一 九升 六左衛門

一 七合 安兵衛 一 三升 善兵衛

一 五合 鐘突堤 文左衛門 一 四升 茂七

一 高八斗 神子給分

一 高八石式斗 御社修理領

都合式拾三石也

先例右之通配分之由尤ニ思召シ修理領之米年々神主庄屋地下中無沙汰ニ不仕連々加修理御社不及類破様ニ仰 候間其旨相心得可申者也

慶安五年丑辰九月十四日 猪野市之丞 御印

原田源之丞 同

草つ 神主 山田善太夫 同

草つ 庄屋 鈴木源右衛門 同

矢倉 庄屋

地下中

配分之覚

一 高四石卷斗六升七合

草津ろ

左近江遣

一 同八斗三升三合

矢倉ろ

同人江

一 同老石六升七合五夕

草津ろ

御供米同人江

但し八ツ成ニテ米老斗七升老合ニテ渡

草つろ 正泉坊江遣

矢倉村分

一 同四石卷斗六升七合

同坊へ

一 同老石七升九合

草津ろ

長太夫江遣

一 同式斗老升五合

矢倉ろ

同人へ

一 同八斗三升三合

草津ろ

神子へ遣

一 同老斗六升七合

矢倉ろ

同人へ

一 同七石八斗五升三合五夕

草津ニあり

一 同老石五斗七升老合五夕

矢倉ニあり

合式拾三石

内

拾九石老斗六升七合

草津

三石八斗三升三合

矢倉

御社領田

一 下魚ノまへ 中九畝廿式分

高老石三斗六升老合

二町ノ藏

一 魚ノ前 上老反歩

高老石四斗四升

四丁目 源吉

一 竹

一 中九畝十七歩

高老石三斗三升九合

六丁目 小右衛門

一 上老反歩

高老石五斗四升

六丁目 治右衛門

一 上老反歩 此宛老石式斗

一 上老反三畝十四歩

高式石七升三合五夕

五丁目 岩次郎

反臥合五反貳臥廿三步
高合七石八斗五升三合五夕
宛米合五石六斗

神宮寺給田 燈明料共

宮ノ後

一 下尅反歩

高尅石三斗

長藏

同

一 中尅反歩

高尅石四斗

清吉

宮ノ後

一 下尅反尅臥九歩

高尅石四斗六升七合

武兵衛

反臥合三反尅臥九歩

高合四石尅斗六升七合

宛米合四石四斗

御供料田

かわつき

一 下八臥六歩

高尅石六升七合六夕

庄八

神主給田

一 屋敷廿四歩

高尅斗四合
此年貢

門ノ田苗代ニ而

一 中尅臥拾歩

高尅斗七升四合
此宛貳升

留吉

門ノ田
一 上尅反廿歩

高尅石六斗四升四合
此宛尅石貳斗
十兵衛

同
宮ノ後
一 上尅反尅臥六歩

一 上畑 尅臥歩

高尅斗三升

一 同 拾歩

高四升三合

一 上々畑貳臥廿歩

高三斗四升七合
此宛尅斗五升

勘四郎

反臥合貳反八臥歩

高合四石尅斗六升七合
宛米合

神子給田

一 下六臥十貳歩

高八斗三升三合
此宛九斗

松之助

神人給田

宮ノ後
一 下六臥十貳歩

高八斗三升五合
此宛八斗五升

本人
久兵衛

鐘突

一 中尅臥廿歩

高貳斗四升六合
此宛六斗五升

同人

反臥合八臥五歩

高合尅石七升九合

宛米合尅石五斗

右

反臥合老町三反四臥廿五歩
高合拾九石卷斗六升七合

右反別明和八卯年調
右宛米小作安政三丙寅年調

尉田 田地之事

一 千束
中八臥歩 高老石老斗貳升 村 田

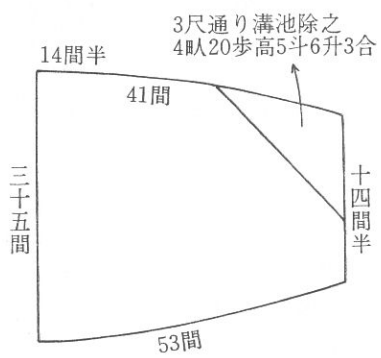
一 糠田
中老反老臥歩 高老石五斗四升 茂右衛尉

一 南下引
中六臥歩 高八斗四升 又左衛門尉

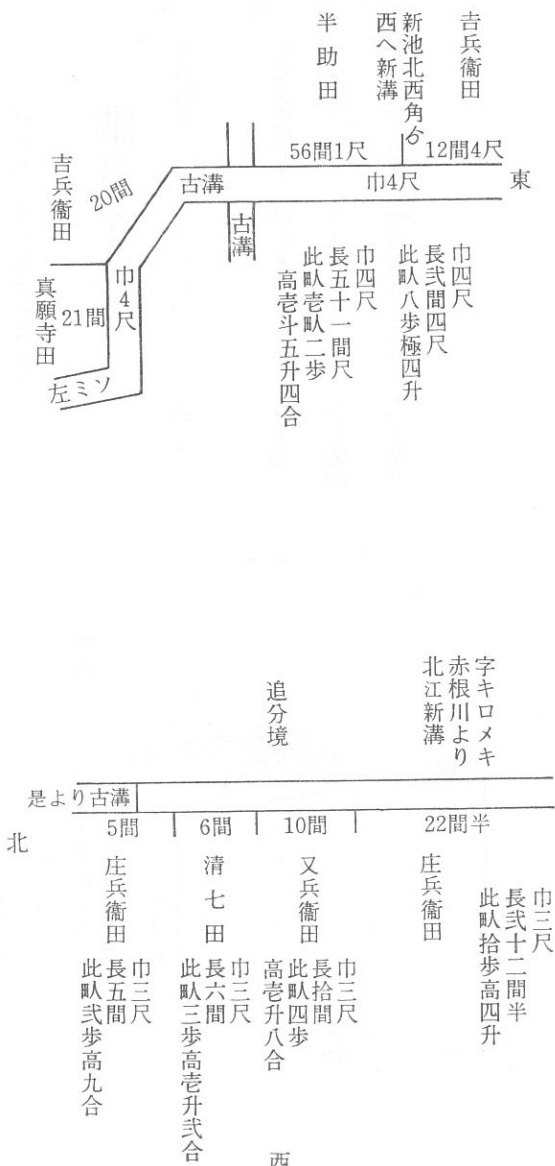
一 猪子道
中老反老臥歩 高老石五斗四升 太左衛門尉

一四 寛政四壬子年新池出来

右反別高とも明和八卯年調



東海道草津宿関係史料 (4) (小林)



新池潰地

下七畝十五步	高七斗七升五合	安兵衛 ^〆 買上
下七畝十五步	高九斗七升五合	与左衛門より
下七畝十五步	高九斗七升五合	孫兵衛より
下七畝十五步	高九斗七升五合	孫兵衛より
下九畝廿步	高七斗七升五合	孫右衛門より
下九畝廿步	高八斗四升	孫兵衛より
中六畝步	高八斗四升	孫右衛門より
中五畝十八步	高七斗七升五合	孫右衛門より
中三畝步	高四斗貳升	〃
中四畝十一歩	高六斗壹升六合	〃
下七畝十二歩	高七斗八升三合	〃
下六畝六歩	高八斗七升	〃
下六畝六歩	高七斗九升七合	〃
下六畝六歩	高八斗七合	次郎八江亮
中四畝十一歩	高六斗一升六合	同
下七畝十五歩	高一斗八升三合	同
池のこり	高五斗六升三合	同
下四畝廿歩	高五斗六升三合	同
新池潰地	高五斗六升九合	〆
高式斗九升八合		
極 壹斗		
差引		

高五石七斗貳升六合
寛政四壬子才^〆滅之

一五

郡上野池御証文
今度草津駅馬飼用水
其辺りにおいて取定ニ付
山陰清水有之所へ間屋
肝くとも可任望者也

丑六月 伊賀御在判

近江国栗太郡

慶長六丑年ニ当ル

山手村之百姓江

文政十丁亥年五月濟証文之写

乍恐奉差上濟証文之事

一 此度草津宿用水郡上野池之義池尻八反ハ山寺村御田地右池水を以可相養旨方山手村^〆願出候ニ付草津宿被召出右之趣御調御座候処草津宿之義者往古^〆右様之義者一切御無座候旨奉申上候処双方下ニ而对談可仕之様被仰付奉畏候依之左通熟談仕候ニ付此段奉申上候

一 山手村御田地八反之分養水溜池普請 として御

上様の山手村江金子百兩御下ケ被成下難有

奉存候

右金子を以郡上野ニ差支無之場所見繕ひ普請可仕候依之以來郡上野池者勿論井川筋も聊差支之義仕間敷候

一 郡上野池走り高サ三尺地上ケ都而土居向高サ三

尺嵩置并南堤宍間通裏付 御上様の御普請被成

下此上右之池水ニ差支不仕様被成下難有奉存候

依之草津宿の御冥加金上納可仕候尤在来之溜水

の三尺高水ニ相成候へ共池際山際并御田地聊差

支無御座候事

一 往古の池之上手の一合水落来候付此上逆も溜水

ニ差支之義聊仕間敷事

右之通御願奉申上候処御聞濟被成下候ニ付和談

相調偏ニ御威光者難有仕合奉存候以來右規定之

通急度相守可申上候双方存隙之義無御座候依而

双方連印濟証文奉差上候以上

五月十三日

山寺村

百姓物代

源 八

肝 五兵衛

庄屋 与右衛門

草津宿

〇惣代

高田儀助

高田次郎八

年寄

山内嘉兵衛

庄屋

深尾又五郎

田中七左衛門

御奉行様

覚

一 金六拾兩也

右者郡上野池堤嵩置并裏付普請いたし候付

爲冥加上納之内江受取之処如件

文政十亥年

五月十六日

伊藤宗太御在判

西原長藏

宇治弥兵衛

鈴木覚右衛門

残金四拾兩六朱利式拾ケ年賦上納可致答ニ而御役所
ニ而拜借

一六

延享三寅年十月三日相改

込田池

東西南北
西六十六間
北平均百七間

尾丸池

東西南北
西廿四間半
南三十七間半

山神池

東西南北
西六間半
南八間半

南堤 九十六間
北堤 三十六間
西堤 八十八間
東堤 八十四間

百廿六間也

五月十四日

御地方
宇治弥兵衛様
西原長藏様
郡上野池端御見分上て

十六日御召出ニ而御聞濟ニ相成先達而々双方差
上候願出御下ケニ相成候御普請者十月上旬より

郷中人足を以被成下候旨被仰付候事

子六月雨天打続南堤裏付之所すり落候付宇治様

御見分之上山寺村へ被仰付猶又卷間通り田地江

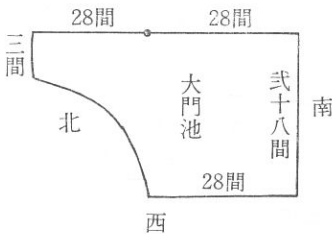
切込被居裾裏付ニ仰付明杭数多相用防候事

蓮田池

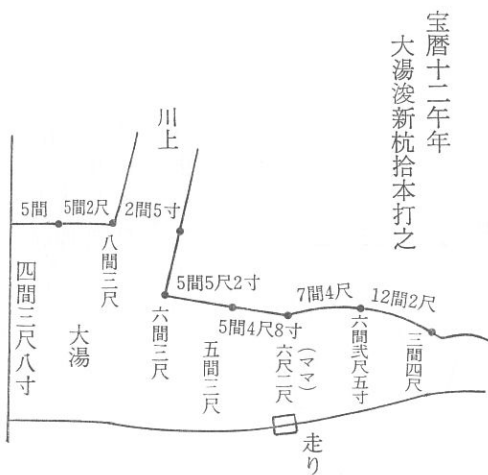
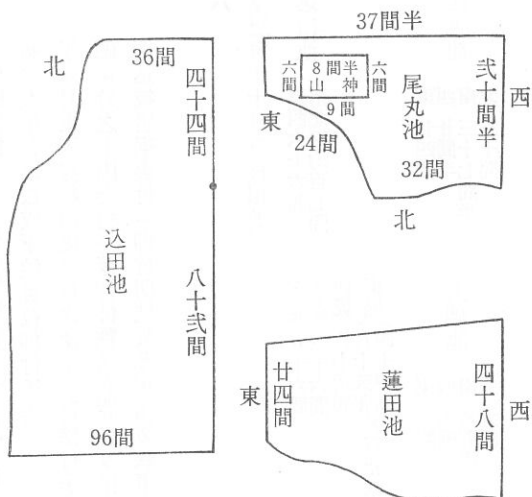
東西南北
西四十八間
東廿四間
北六十四間
南六十四間

大門池

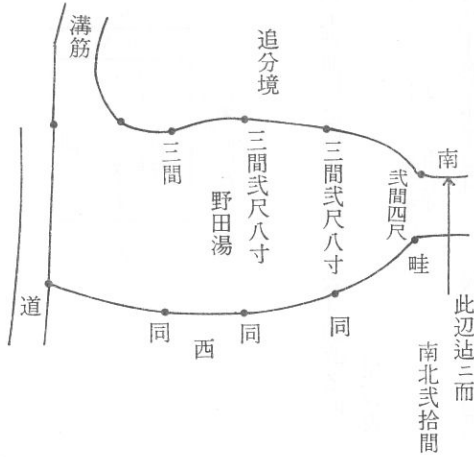
東西南北
西廿八間
東三十四間
北三十八間
南三十一間



東海道草津宿関係史料 (崎) (小林)

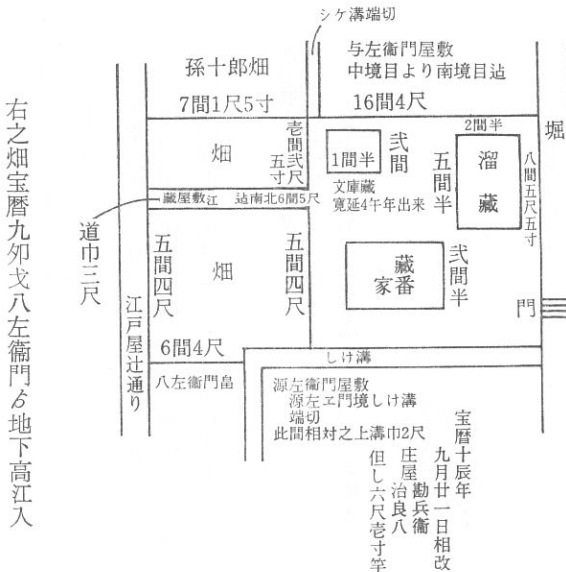


宝曆十二年
野田湯浚新杭打之
六尺三寸竿



一七 馬除ケ場之事
小川石橋北卷ケ所 半左衛門辻北角 重右衛門田卷
ケ所常善寺堀北平三郎田卷ケ所 常善寺後文左衛門
田卷ケ所 山王辻常善寺田卷ケ所 五丁目裏石橋
北与左衛門田卷ケ所 釈伽堂源左衛門卷ケ所
右七ヶ所六尺四方

一八 地下藏屋敷之事

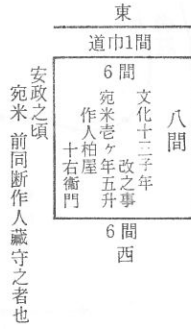


右之畑宝曆九卯戈八左衛門地下高江入

一 上巻臥歩 高巻斗四升八合

右之高元出会所地面高江付ル安政之頃四丁目
力藏屋敷ニ

宝曆十辰年改之節者畑ノ中程ニ道有之候へと
も其後東方江道付替ル既ニ文化十三子年八月
畑之分相改候処左之通



一九 字郡上野池床之樋享保十巳年六月御改之節

書上ル表

一 長七間

内法 高六寸五分
巾七寸

右文政十亥年土手裏付いたし候ニ付長巻間足し
樋被下置候

同所十文字樋年月ハ前同断

一 長七間 内法 高六寸五分
巾一尺二寸

同断掛伏樋年月も前同断

一 長四拾貳間 内法 高巻尺
巾一尺貳寸

右宝曆九卯年 伏替之節 長四拾四間三尺ニ成
文化八未年 伏替之節 長四拾五間三尺ニ成
弘化四丁未年伏替之節 石樋ニ被成申候

一 同所宝曆十辰年六月書上ル表
堅樋 長巻間 内法六寸四方

右宝曆十二年伏替之節 長九尺ニ相成

目四ツ
頭ノ巻番迄七寸
夫ノ三番迄者尺五寸
夫ノ三番迄者尺三寸
夫ノ四番迄者二尺一寸

右文化十四年書上之表巻丈と有之

右嘉永六丑年伏替之節本模規之趣申出候へ共
朽木谷栗ニ相成七左衛門落札ニ而銀七拾匁ニ
而出来則代銀御上る被下置候
目数六ツ□大サ三寸五分

天目 巻ッ

横目表ノ方四ツ

頭カ卷尺五寸宛下言明ル

源目裏ノ方壹ツ

右同年梓御聞濟ニ相成明ケ栗之丸太被下置候

二〇 (諸書上表)

三町塚へ用水享保十巳年御改之節書上ル表

一 埋樋 長貳間貳尺 内法高四寸
巾五寸五分

まとはへ用水年号月前同斷

一 長三間五尺 内法四寸四方

右文政四巳年長四間半ニ御聞濟ニ相成

右安政二卯年長四間半ニ被下置候処伏替之節俄

ニ壹間貳尺 宿カ足し長五間五尺ニ相成候

上田安政九子年御免ニ相成

一 門樋 高三尺五寸 上下 高四尺

巾四尺 上ノ方関板高貳尺七寸

長五尺

込田入樋享保十巳年書上ノ表

一 埋樋 長貳間三尺 内法高壹尺貳寸
巾壹尺六寸五分

右寛延元年依願長貳間四尺ニ成

宝曆六子年依願長三間ニ成

同所まとは筋へ落し樋享保十三年書上之表立樋共と有

一 埋樋 長四間貳尺 内法四寸四方

右宝曆十辰年書上ニ四間三尺と有之

但し立樋とも

込田池赤根川カ入樋享保十一年御免

一 埋樋 長三間 内法貳尺四方

込田池宮川へ落し樋享保十辰年書上之表立樋共と有之

一 同 長七間四尺 内法八寸四方

右寛保元酉年依願七間半ニ成

右文政九戌年内法壹尺之焼 樋上下共長壹間

宛板樋内法壹尺四方被下置候

右同所

一 堅樋 長四尺五寸 内法五寸四方 目二ツ 三寸五分
四寸五分

十條落し樋享保十巳年書上之表高居落し共と有之

一 埋樋 長九間三尺 内法壹尺五寸四方

宮後伏樋享保十巳年書上之表

一 同 長拾五間壹尺 内法 高サ七寸
巾 八寸

右文政十二丑年依願内法高八寸
巾貳寸ニ相成

はすた池入樋享保十巳年書上之表高居落し戸共と有之

- 一 埋樋 長七間 内法 高四寸 巾五寸

右安永二巳年适伏替願候へ共出来無之不用也

大門池入樋

- 一 同長卷間 内法 高五寸 巾六寸

同所字川入樋

- 一 同 長三間貳尺 内法四寸四方

同所入樋字川北堤

- 一 同 長三間貳尺 内法五寸四方

右宝曆十一巳年宮後伏替余り樋 二而高七寸 巾八寸

字午田江用水享保十六亥年御免

- 一 同 長四間三尺 内法八寸方

右安永二巳年

同所寛政四字年御免

- 一 門樋 長貳間 高六尺

巾卷丈四尺

長貳間半 高六尺 巾卷丈貳尺

右当筋

長三間半巾貳間者石ニ被成則安政二卯年長 高六尺 巾貳丈貳尺 卷間分貳寸板被下置候

小森部ノ下左兵衛前 享保十六亥年御免

一 埋樋 長卷間 内法八寸四方 大湯文化十四年書上之節天明元丑年留記紛失ニ付 不相分候へ共願之内と見へ候旨書上ル

- 一 走り 長九尺五寸

巾卷間 兩側板卷尺

柳川筋

- 一 走り 長貳間 巾卷間四尺 兩側板卷尺六寸

(続)

